

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	教育・保育相談の理論と方法		教員氏名	横川剛毅		
科目ナンバー	Ⅲ-6-3-4					
学年	2年		開講学期	前期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	障がい者支援施設支援員	10年	
テーマ	教育・保育相談の意義と理論、方法、展開について習得する					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	教育・保育相談に関して、下記の到達目標を踏まえた講義と併せ、さまざまな事例検討や学生同士のディスカッション・ロールプレイを通して学ぶ。 障がい者支援支援施設支援員、及び施設第三者委員としての相談職務の経験を活用して、具体的相談場面を織り交ぜながら事例を通して相談の基本を概説する。					
授業の到達目標	①教育・保育相談の理論・概念の基本を土台として、その意義と課題を述べることができる。					
	②相談におけるカウンセリングマインドを説明でき、受容・傾聴・共感的理解等の技法を実践できる。					
	③保護者からの相談への対応、組織的対応、専門機関との連携を実践できる。					
テキスト	なし。授業内でプリントを配布する。					
参考書	なし。					
ポートフォリオ	授業内で指示する。					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する					
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する					
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題参加度出席態度等	100	レポート課題(60%)、事例発表(20%)、授業に臨む姿勢(20%)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、教育・保育相談が求められる状況の理解	
	授業外学習	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第2回	テーマ 内容	教育・保育相談の基本① 生活モデルとエコロジカルアプローチ	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第3回	テーマ 内容	教育・保育相談の基本② エンパワメントとストレングス視点	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第4回	テーマ 内容	教育・保育相談の原則① ハイスティックの7原則の学び(前半)	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第5回	テーマ 内容	教育・保育相談の原則② ハイスティックの7原則の学び(後半)	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第6回	テーマ 内容	信頼を得るためのコミュニケーション技法① 8技法の学び(前半)	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第7回	テーマ 内容	信頼を得るためのコミュニケーション技法② 8技法の学び(後半)	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第8回	テーマ 内容	自己覚知と価値観の違い	
	授業外指示	これまでの学びの復習	55分
第9回	テーマ 内容	事例検討① ショート事例の読み込みと取り上げる事例の選定	
	授業外指示	事例検討の予習	55分

第10回	テーマ 内容	事例検討② 事例検討と発表準備	
	授業外指示	事例発表のためのプレゼンテーション準備	55分
第11回	テーマ 内容	事例検討の結果発表①	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第12回	テーマ 内容	事例検討の結果発表②	
	授業外指示	プリント資料を読み込んで復習する	55分
第13回	テーマ 内容	総括とレポート作成	
	授業外指示	総復習する	55分

課題に対するフィードバックの方法

発表課題について学生による相互評価を行うとともに、教員による評価を実施し授業内で伝える。

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	教育・保育相談の理論と方法		教員氏名	中野陽子		
科目ナンバー	Ⅲ-6-3-4					
学年	2年		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	社会福祉士	7年	
テーマ	教育・保育の相談援助に必要な基礎的な価値・知識・技術の習得					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	<p>教員・保育者として必要となる相談援助・教育相談の理論を習得する。また、コミュニケーション技術の学習と教育・保育相談事例の検討やロールプレイを実施し教育・保育相談実践や幼児理解に生かせるようにする。社会福祉士として障がい者施設において利用者や保護者への相談援助を実践していたことをもとに保育相談の支援方法について伝えていく。</p>					
授業の到達目標	教育・保育者として必要な教育・保育における相談援助の知識を理解し説明できる。					
	教育・保育者に求められるコミュニケーション技術を理解し実践できる。					
	事例検討を通じて、専門職として教育・保育における相談援助を実践することができる。					
テキスト	『学ぶ・わかる・みえる シリーズ保育と現代社会 演習・保育と相談援助』第2版 みらい 前田敏雄監修、佐藤伸隆・中西遍彦編集					
参考書	授業内で随時紹介					
ポートフォリオ	授業内で指示					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○	
	ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題 参加度 出席態度等	100	総括レポート40%、授業取り組み60%(小テスト・リアクションペーパー・課題・発表等)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション、授業の進め方、保育者が教育・保育相談の理論と方法を学ぶ意義とは	
	授業外学習	第1章を熟読し、教育・保育相談の理論と方法を学ぶ意義についてまとめる。	55分
第2回	テーマ 内容	相談援助者になるために①(自己理解)グループワーク	
	授業外指示	第4章を熟読し、教育・保育相談を行う上で必要な自己理解についてまとめる。	55分
第3回	テーマ 内容	相談援助者になるために②(他者理解)グループワーク	
	授業外指示	第4章を熟読し、多様な価値観があることに気づき、受容することの大切さについてまとめる。	55分
第4回	テーマ 内容	幼児教育・保育における相談の基本①(相談援助の過程・相談者としての幼稚園教諭・保育者の役割と視点)	
	授業外指示	第3章を熟読し、教育・保育相談に必要な手順と留意点をまとめる。第2章を熟読し、教育・保育相談の意味と視点についてまとめる。	55分
第5回	テーマ 内容	幼児教育・保育における相談の基本②(バイステックの7原則)受容、傾聴、共感的理解	
	授業外指示	第2章を熟読し、受容・共感・傾聴のポイントについてまとめる。	55分
第6回	テーマ 内容	相談援助者になるために③(コミュニケーション技法:言語コミュニケーション)課題	
	授業外指示	第2章を熟読し、不登校の子どもの事例に基づき、言語でのコミュニケーション方法について理解したことをまとめる。	55分
第7回	テーマ 内容	相談援助者になるために④(コミュニケーション技法:非言語コミュニケーション)課題	
	授業外指示	カウンセリングマインドに基づき、非言語コミュニケーションについて理解したことをまとめる。	55分
第8回	テーマ 内容	記録の書き方	
	授業外指示	記録の書き方について復習し、実際に記述したうえで考察をする。	55分
第9回	テーマ 内容	相談援助者としてのカウンセリングマインドの理解、カウンセリングの進め方(原則)、教育・保育相談の進め方の実際ロールプレイ①(子ども家庭支援センター)	
	授業外指示	事例検討およびロールプレイを振り返り、理解したことをまとめる。	55分

第10回	テーマ 内容	幼児理解(幼児観察法を中心とした理論と方法)、教育・保育相談の進め方の実際ロールプレイ②(母子生活支援施設)	
	授業外指示	事例検討およびロールプレイを振り返り、理解したことをまとめる。改善点を整理し次のロールプレイに備える。	55分
第11回	テーマ 内容	教育・保育相談の進め方の実際ロールプレイ③(虐待)	
	授業外指示	3回実施したロールプレイを振り返り、自身の課題についてまた学んだことについてまとめる。	55分
第12回	テーマ 内容	事例検討、専門職連携	
	授業外指示	事例を振り返り、専門職との連携も含めた教育・保育相談の方法について理解したことをまとめる。	55分
第13回	テーマ 内容	相談援助者になるために⑤(多角的な視点を養う)・まとめ	
	授業外指示	多角的な視点が身につけることができたかどうか振り返りまとめる。保育者として教育・保育相談応じるための理論と方法について総括する。	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ・提出されたリアクションペーパーや小テストの考察を授業時に口頭やパワーポイント等でフィードバックを行う。
- ・学生同士の相互評価とそのフィードバックも行う。

2022年度 和泉短期大学 シラバス

授業科目名	教育・保育相談の理論と方法		教員氏名	中安恒太		
科目ナンバー	Ⅲ-6-3-4					
学年	2年		開講学期	後期		
授業形態	演習		単位数	1単位		
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	児童養護施設指導員	9年	
テーマ	教育・保育相談の意義と理論、方法、展開について習得する					
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○	
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する				
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う				
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける				○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う				
授業の概要	児童養護施設における児童指導員として勤務した経験や社会福祉士として福祉現場に勤務した経験から、教育・保育の現場実践に即した相談援助に関するマインド・ノウハウ・スキル向上を目指す。そのために、テーマに応じてペアワーク・グループワークやロールプレイ等を組み入れて行う。					
授業の到達目標	教育・保育者として必要な教育・保育における相談援助(ソーシャルワーク)の知識を理解することができる					
	教育・保育者に求められるコミュニケーション技術を身につけることができる					
	実践事例等を通してながら、課題解決のためには組織で対応する必要があることを論じることができる					
テキスト	佐藤伸隆・中西遍彦(編)「学ぶ・わかる・みえる 演習・保育と相談援助」みらい					
参考書	なし					
ポートフォリオ	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した補足資料(レジュメ)・課題提示や回収等を実施する					
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○	
	リアクションペーパーを用いて、授業内での疑問等を対話形式にて対応す				○	
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める					
	ICT(-googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○	
	その他:					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容			
	定期試験	0	実施しない			
	授業内課題参加度出席態度等	100	確認テスト60%+提出課題(リアクションペーパー含む)20%、授業態度と意欲20%(授業態度と意欲にはディスカッションへの参加、発表内容も含む)			
	その他					

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	オリエンテーション・「教育・保育相談の理論と方法」を学ぶ意義	
	授業外学習	テキスト第1章を読み、「教育・保育相談の理論と方法」を学ぶ意義についてまとめる	55分
第2回	テーマ 内容	相談援助とは何か(相談援助の意味と視点、機能と方法、原則と倫理)	
	授業外指示	テキスト第2章を読み、相談援助とは何か説明できるようまとめる	55分
第3回	テーマ 内容	相談援助者になるために①(自己覚知)【グループワーク】	
	授業外指示	テキスト第4章を読み、演習後の気づきをまとめる	55分
第4回	テーマ 内容	相談援助者になるために②(他者理解)【グループワーク】	
	授業外指示	テキスト第5章を読み、演習後の理解度の気づきをまとめる	55分
第5回	テーマ 内容	相談援助とソーシャルワーク①(インテーク)【グループワーク】	
	授業外指示	テキスト第10章の「インテーク」について、「自己覚知」と「他者理解」で学んだことを踏まえながらまとめる	55分
第6回	テーマ 内容	相談援助とソーシャルワーク②(アセスメント～評価)【グループワーク】	
	授業外指示	テキスト第10章～第12章を読み、インテークを踏まえた「相談援助の過程」において、重要と思えたことをソーシャルワークの概念を用いながらまとめる。	55分
第7回	テーマ 内容	相談援助におけるコミュニケーション技法①(言語コミュニケーション)【グループワーク】	
	授業外指示	テキスト第6章「言語コミュニケーション」に関連することを中心に読み、ワーク等を通して気づいたことをまとめる	55分
第8回	テーマ 内容	相談援助におけるコミュニケーション技法②(非言語コミュニケーション)【グループワーク】	
	授業外指示	テキスト第6章「非言語コミュニケーション」に関連することを中心に読み、ワーク等を通して気づいたことをまとめる	55分
第9回	テーマ 内容	相談援助における連携(チームアプローチ)【グループワーク】	
	授業外指示	テキスト第3章を読み、演習を通じた気づきも踏まえ、保育士として連携を図るために必要なことをまとめる	55分

第10回	テーマ 内容	教育・保育相談の記録の書き方	
	授業外指示	現場実習における実際の記録を振り返り、今後、教育・保育現場での記録の取り方で留意することは何かまとめる	55分
第11回	テーマ 内容	事例検討およびロールプレイ①(児童虐待の対応等)【グループワーク・ロールプレイ】	
	授業外指示	事例およびロールプレイを振り返り、理解したことをまとめる	55分
第12回	テーマ 内容	事例検討およびロールプレイ②(DVの対応等)【グループワーク・ロールプレイ】	
	授業外指示	事例およびロールプレイを振り返り、理解したことをまとめる	55分
第13回	テーマ 内容	これまでのまとめ	
	授業外指示	13回の講義を通しての学びや気づきをまとめる	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ・授業内および授業外学習に関する質問等は、授業前後の時間及びオフィスアワー(別途掲示)に対応する。
- ・提出されたレポート等は、授業時及びGoogle Classroomにてフィードバックを行う。